令和2年(2020年)3月12日 建 設 委 員 会 資 料 まちづくり推進部中野駅周辺まちづくり課

中野駅南口地区まちづくりについて

中野駅南口地区では、平成27年3月に地区計画を都市計画決定(下図参照)し、A地区において、再開発による南口のにぎわいの核の形成や駅前広場の拡張整備等を行うため、現在、土地区画整理事業と市街地再開発事業の一体的施行によるまちづくり事業を進めている。

一方、これに隣接するファミリーロードを中心としたB地区についても、地区計画において駅から連続したにぎわいと魅力的な商店街の形成を図るとしており、A地区の事業進展とあわせたまちづくりを推進していきたいと考えている。

このことについて、B地区の具体的なまちづくり検討を進めていくため、以下のとおり、まちづくりに関する意向調査を実施したので、その結果及び今後の検討の進め方について報告する。



1. まちづくり意向調査の実施

(1)調査目的

B地区について、今後のまちづくりを検討する際の基礎資料とする。

(2) 調査対象

B地区に、土地または建物を所有している権利者(213名)

(3)調査期間

令和元年11月1日~令和元年11月29日

(4)調査方法

郵送による配布・回収

(5)回答状况

回答率:約23.5%(回答数:50件/配布数:213件)

(6) 調査結果

別紙のとおり

2. 今後の進め方

本意向調査の結果を踏まえ、来年度以降、まちづくり勉強会の開催や道路測量等の現地調査を実施し、地区計画(地区整備計画)等の検討を進めていく。

中野駅南口地区B地区(ファミリーロード周辺)のまちづくりに関する意向調査の結果について

【調査目的】

この意向調査は、まちづくりの検討にあたり、権利者の皆様のご意向などをお聞きすることが目的です。

【調査対象】

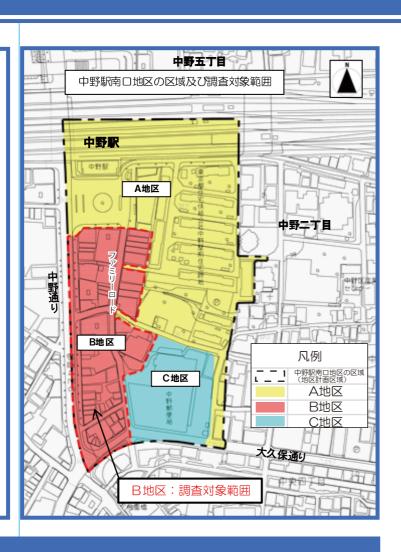
本調査は、中野駅南口地区のB地区に土地もしくは建物を所有されている方を対象としています。 (213名)

【調査期間】

令和元年11月1日(金)~29日(金)

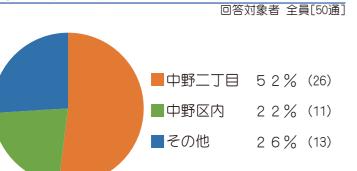
【回答状況】

回答率:約 23.5 % (配布数 213通、回答数 50通)

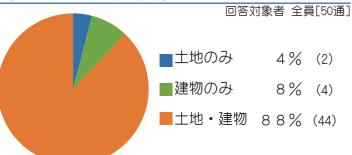


(1)回答者について

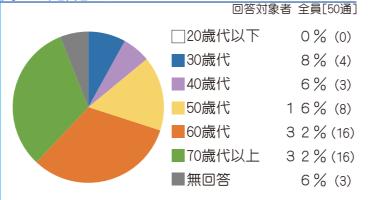
問1 お住まいについて



問3 土地・建物の所有について

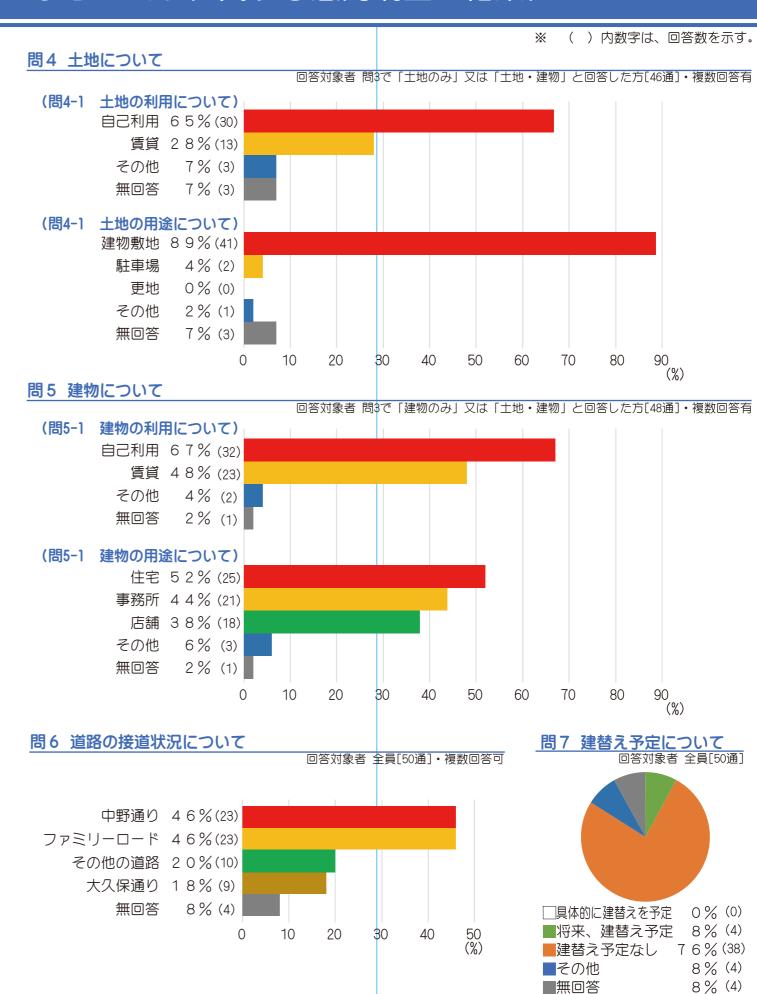


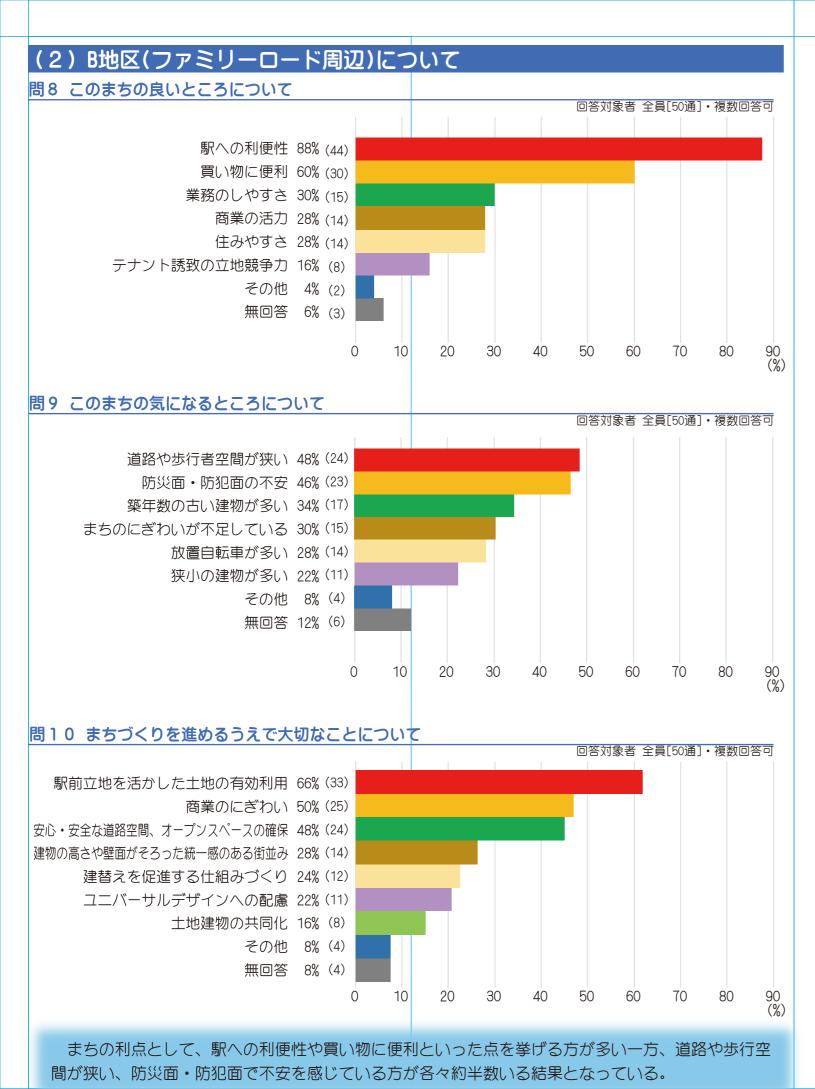
問2 年齢について



中野区在住の方が約70%で 年齢60歳代以上の方が約60%と なっている。

また、土地・建物を所有している 方が約90%となっている。





問11 まちづくりの勉強会への参加について





まちづくり勉強会への参加の意向 は、積極的に参加したい方が8%、都 合が合えば参加したい方が50%と なっており、約60%の方が参加した い意向を示している。

(3) 主な自由意見(概要)

○まちづくりについて

- ・市街地再開発事業が出来ることを楽しみにしている。より良いまちにしてほしい。
- ・駅周辺の環境再整備に賛成する。
- ・現状に満足している。無理して壊して再開発する必要はない。税金は子供たちの教育や高齢者の介護のために使ってほしい。
- ・見た目や外観のステータスを持たせる見せかけの再開発は絶対に反対である。
- ・安全、安心なまちでいてほしい。
- ・まちづくりのプロのコンサルタントを利用してほしい。
- ・区民が集える内容やデザインを求め、自然と外部の人が来たくなるまちづくりを計画してもらいたい。
- ・建替えを検討するにあたり、今後どのように進んでいくのかを聞きたい。

○歩道・広場の整備、歩行者の安全の確保について

- ・南口駅前広場の拡張により、ファミリーロードと駅との歩行者動線が分断され、ファミリーロードの利用者が減少すれば死活問題である。
- ・歩行者の自由な動線、駅とファミリー□−ドの最短動線を確保してほしい。
- ・車椅子などが大変なため、ユニバーサルデザインにもっと配慮してほしい。

○にぎわいの創出等について

- ファミリーロードがより多くの人で賑わうようにしてほしい。
- ・北口のにぎわいとの関連性も考慮してほしい。
- ・中野五差路交差点付近や中野通り、大久保通り周辺ににぎわいがほしい。

○その他

- ・災害対策(水害)について知りたい。
- ・たばこや自転車の問題。パチンコに来ている人達が多い。